

「エコシティたかつ」の推進に向けた総合的な展開(案)

「エコシティたかつ」推進方針(2009年3月策定)

地球環境危機の時代において、高津区内で顕在化している自然環境・社会環境・生活環境に関する諸課題に対し、地域の多様な主体が協力して、総合的かつ多面的に取り組むための計画要素を含んだ基本的な方針

新総合計画
(川崎再生フロンティアプラン)

基本理念

地球環境危機の時代に対応した、自然の賑わいとともにある、持続可能な循環型都市構造の再生と創造

＜基本目標＞

- ①低炭素・省資源社会の実現(緩和策)
私たち一人ひとりが身近なアクションをおこし、二酸化炭素の削減につなげ、資源を有効に活用する。
- ②自然共生型都市再生の推進(自然の賑わい・生物多様性)
丘陵などランドスケープを重視し、生命(いのち)の賑わい豊かな自然共生型の都市再生を地域から推進する。
- ③地域に即した防災まちづくりの推進(適応策)
深刻化する局地的な豪雨や洪水、濁水に対し、流域の水循環に即した「水災害適応型都市」づくりを推進する。

＜基本的な考え方(行動計画に取り組む視点)＞

- ①環境的・社会的・経済的持続可能性の実現
- ②地域の流域特性に根ざした事業推進
- ③行政・市民・企業・学校の協働による推進と担い手の育成
- ④区の全事務事業の環境視点からの見直しと総合的展開
- ⑤資源の有効活用とリーディングプロジェクトによる効果的な事業推進

＜長期的なプロジェクトの案＞

- ①自然環境・地域環境に配慮した新たなエコ・コミュニティの検討
流域思考による持続可能な地域づくりの視点から、環境・社会・経済のバランスの取れたコミュニティベースの新たな自治のあり方について検討する。
- ②生命地域の視点によるまちづくりの検討
環境政策と都市政策を連動させたまちづくりを、地域で統合的に推進していくための大地や水循環の体系に則したシステム構築に向けて検討する。
- ③小流域単位の総合治水の推進
小流域単位での重層的治水対策の推進に向けて検討する。

＜これからの検討課題＞

- ①自然共生型都市再生の推進に向けた区としての総合行政の展開
- ②都市の農的空間を活かしたまちづくりの推進
- ③環境負荷の小さい地域交通政策の検討
- ④環境活動・環境資源の保全に関する新たな資金支援制度の創出
- ⑤中長期的な視点からのまちのあり方に関する検討

関係計画・事業

- ・環境基本計画
- ・緑の基本計画
- ・CCかわさき
- ・区地域課題対応事業
(環境まちづくり普及啓発事業、花と緑のたかつ推進事業、たかな農のあるまちづくり推進事業)など



2009年度から2013年度までの取組

＜学校流域プロジェクト＞

小学校(14校)と市立養護学校にビオトープ整備し、環境学習支援を実施

＜「たかつ自然の賑わいづくり」事業＞

「たかつ水と緑の探検隊」による取組を市民健康の森、緑ヶ丘公園で実施

＜橋地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進＞

農産物の紹介販売、農業体験、ファーマーズマーケット「さんの市」を開催

＜エコシティホール化＞

屋上緑化、壁面緑化、緑のカーテン、雨水利用、太陽光発電、自動灌水装置

＜普及啓発＞

エコ・エナライフコンクール、緑のカーテン講習会、「エコシティたかつ」推進フォーラム、「エコシティたかつ」推進会議 CCかわさき交流コーナーにおける「エコシティたかつ」パネル設置

＜地図による地域環境資源の共有化の促進＞

立体地形図の作成、ベースマップ作成、ヒートアイランド・クールスポット調査の実施

＜その他＞

- ・エコ企業調査の実施(民間企業等7事業所等を視察)
- ・まちなか油田プロジェクト(廃食用油の回収、BDFの運行(かえるプロジェクト))
- ・産学官連携による共同研究(スナゴケを用いた屋上緑化の効果の検証)



流域思考に基づいた「緩和策」、「適応策」、「生物多様性」の視点からの総合的な取組の推進

推進方針に基づく2014年度以降の取組(素案)

＜学校流域プロジェクト＞①②③

学校を健全な水循環と生き物の賑わいを再生し支える地域のモデル基地と位置づけ、環境学習を実施する。
・雨水貯留の検討、ビオトープ整備(子母口小、2015年度の予定)、環境学習支援、教職員向け学習会、ボランティアスタッフの育成の検討

＜「たかつ自然の賑わいづくり」事業＞②③

水系や流域等のランドスケープや生物多様性の視点を踏まえ、区内の河川の小流域を単位として、水・緑・生きものの調査を市民協働で実施し、適応策として地域から様々な活動を通じて、保水力・土砂防災力の高い流域づくりへの貢献及び自然の賑わいの回復を目指す。
・「たかつ水と緑の探検隊」の取組の継続(モデル地域における生物多様性・保水力向上の実践)

＜高津区の農的資源を活かしたまちづくり＞①②

区内の農的資源について、生物多様性の視点からの評価も踏まえた取組を実施する。
・ファーマーズマーケット「さんの市」の拡充等「たかな農のあるまちづくり」の推進、区内の農的資源の活用に向けた調査・検討

＜エコシティホール・エコシティ化＞

「エコシティホール化」を継続するとともに、他事業の成果等も踏まえて区全体を環境展示場とする「エコシティ化」を推進する。
・エコシティホール化の推進、エコシティホールツアーの実施、溝口駅周辺のエコ化、エコシティマップの作成・エコシティツアーの実施

＜生物多様性の視点を踏まえたエコ・コミュニティづくり＞①②

生物多様性の視点から、生き物の生息・生育の拠点となる緑や水を維持・創出するとともに、拠点間における連続性の確保を図る。
・公園や学校ビオトープ等の活用、久地緑地・円筒分水・かすみ堤等を活かした緑の回廊づくり、「エコシティたかつ」応援団、エコ企業調査

＜普及啓発＞

環境教育・環境学習等を実施し、環境配慮意識を広めるとともに、環境に配慮した取組を積極的に実践する人材を育成する。
・エコ・エナライフコンクール、緑のカーテン講習会、「エコシティたかつ」推進フォーラム、「エコシティたかつ」推進会議、雨水樽等の普及

＜区内環境資源等の情報収集・共有＞

区内の環境資源や環境関係団体に関する様々な情報を収集するとともに、収集した情報を多様な主体による取組につなげるために、誰もが活用できるようにわかりやすく情報発信する。
・地域の環境資源の情報収集・マップ化、環境関連団体の概要や取組内容についての情報収集・発信、ICTの活用による情報発信・共有